

# 「あなたのデフォルト！！思い込み、決めつけ」

使徒 10:1 ~ 26

ある人が有名なオークションに出かけました。ところが憤慨して家に帰ってきました。なんとアブラハムの骨がオークションに出たというのです。多くの人が手に入れようと手を挙げたのですが、よく聞いていると 175 歳まで生きたアブラハムのその骨は 13 歳の時のものだというのです。危うく騙されそうになったのです。また別のオークションでは世界に 2 枚しかないという高価な切手が出品されました。とある収集家がこの切手を 6,600 万円で落札するとすぐになんとその切手を燃やしてしまったのです。そして言いました。「私はもう 1 枚持っている。」2 枚あったものが 1 枚になることでこの切手の価値がさらに上がる事を彼は知っていたのです。私たちの目に見えていること、自分がそうだと思い込んでいることが正しいとは限らないのです。聖書はこの事を昔からずっと私たちに伝えてくれています。今見ているものは本当に美しいのか、私たちが見ているものが間違っているのだとしたらどうでしょうか。

## ■ コルネリオとペテロの奇跡の出会い

使徒 10 章の中でローマ帝国のために忠誠を尽くす百人隊長でありイエス・キリストを信じ多くの兵士に影響を与えたコルネリオがペテロに出会います。ペテロもまたコルネリオに出会うようにここに御使い（みつかい）と御霊（みたま）が働いていくのです。そこで大切なのは御使いがペテロに見せた幻とコルネリオに見せた幻をそれぞれの方法で見せる必要があったということです。ペテロはイエス・キリストによって人生の中で 3 度の失敗、3 度の問いかけ、3 度の幻を見たことでこれらが重要なことであると気づきます。かたくなに思えた彼は少しずつ変えられ、入るはずのなかったかわなめしの町に入り居候をしながら福音を伝えるためにいました。ペテロはまさに考え方を変えられている最中でした。聖書の使徒 10 章には時間や場所や空腹だったことなど事細かに書かれています。そこにはそうである背景の意味がきちんと書かれています。私たちの人生にもその時はあなたにとって良い時でなかったかもしれないし人生を覆すような時だったかもしれませんがそれは全てが摂理の中にあることを知る必要があります。その摂理を知るか知らないかが大事なのです。すべて意味があってその時が摂理の歯車であることを理解すると私たちの行動は変わっていきます。あなたはどう生きていますか？

## ■ 思い込み、決めつけ

人間関係で問題を持っている人たちは思っている事と表に出している態度が違います。相手の事を勝手に判断してそうでないのにそうだと思い込んでいるのです。うまくいくわけがありません。えん罪と知りながら人を裁くのでしょうか？このような思いの連鎖が人間関係の問題を作っているのです。確かに汚い心はみんな持っていますがそんな心でいたいと思う人は誰もいません。私たちの中には本来愛の心が存在し、いい関係でいたいと願っています。ところが思い込みや決めつけによって囁いてくる声は正しい優しさの心を壊していくのです。

## ■ 神の聖めとタイミング

神様の前に私を造り変えてくださいと言いながらそうではない二心がある私たちに神様は、あなたはあなたであれと言って本来のあなたを戻そうとしてくれるのです。それにはタイミングがあります。ペテロがかわなめしのところで見た幻にも意味がありました。空腹なのに食べなさいと言われてもペテロは食べませんでした。確かに

当時の律法によれば、神がペテロに出したものは食べてはいけなさとされていたものです。この時ペテロは神がその時に語られたことよりもこの世の律法を優先したのです。3 度このようなやり取りがあった後、次のような声があり、食べ物に引き上げられたのです。『すると、再び声があって、彼にこう言った。「神がきよめた物を、きよくないと言ってはならない。」』（使 10:15）ここから、全ての主権は神にあることがわかります。決めつけや思い込みによって食べなかったペテロの矛盾について伝えながら神様は小さい事のように思う出来事を通して神はペテロに大切な事を伝えました。今、神様があなたに捨てなさいと言われていたものは何ですか？それはとても小さい事ではありませんか？神様はなぜあなたにとって、そんなことと思えるような小さな事を伝えているのでしょうか。神様はあなたにとって小さく感じるような事を捨てさせ、その先にある大きなことを変えたのです。

## ■ 愛のルール

ペテロは 3 度の神の問いかけを全て拒みました。それはペテロの決めつけでありペテロのルールでした。あなたにとってルールとは何ですか？何のためにルールがありますか？相手を裁くためですか？当時十戒があったのは当時の人たちには扱う力がなかったからです。あなたはルールのために生きているではありません。ルールを守る事が正義ではないのです。その人が墮落した道ではなく正しくルールの中に歩んでいけるように、あなたは愛して仕えなさいと聖書は伝えています。ルールは私たちの為の愛のルールだからです。神様は愛に仕える者として糞土にまみれた馬小屋という底辺にイエス・キリストを置きました。彼は信頼関係の中で愛を持って人々に関わり人々がルールの中に生きることができるように向き合いました。愛するために私たちは愛をもって向き合うのです。ですが私たちは、あんな人いないほうがいと相手を排除しようとし、たしかに時に間をあける必要もありますがどちらかの根底に愛があれば必ず解決が起こります。愛をもって判断し、私たちは愛のルールに基づいて生きていきたいのです。そして何よりも愛のルールはあなたの為にあるのです。

## ■ 神様の時と計画！！

主の前に敬虔であったコルネリオが幻の中から受け取り三人の使者をペテロの元に送りました。ルールに縛られていたペテロは何度も失敗しながら造り変えられ神はそれまでの三回の裏切りを思い出させる方法で御霊の声を聞かせたのです。そして二人が出会い神の奇跡がスタートしました。ここには神様の時があり計画があります。御霊に従った人は奇跡を見るのです。かたくなになっていると御霊の声は聞こえません。思い込みは神様の計画を壊します。あなたの中には神様ご自身がいてあなたの心に語りかけてくださっています。全てが絶妙なタイミングです。そして私たちが聞ける方法で語って下さいませ。コルネリオとペテロの出会いによる奇跡の福音のスタートは今まさに私たちのところに繋がっています。ですから私たちは神様の時と計画のために、決めつけや思い込みを捨て去り、神の愛のルールのなかで生かされる決断をしましょう。神様はあなたを信じておられます。その神様の声に忠実に聞き従う者となっていきましょう。

（要約者：西寄真由美）

（2020年6月28日）